

日経平均株価終値 1 万円台回復についての会頭コメント

株価終値が 1 万円の大台を回復したことを歓迎したい。円安も相まって、京都経済をけん引するエレクトロニクス関連の輸出企業には、業績回復への期待が高まる。また、消費マインドの高まりにより、内需型企业にも一定の恩恵がもたらされるだろう。

一方、今回の株価回復は、米国の景気回復への期待感などが主因であり、必ずしも日本の実体経済を表すものではない。震災からの復興が緒に就いたばかりの日本経済にとっては、企業の自律的な成長を促し雇用を創出する、持続的な成長を目指した力強い経済政策の実行こそが喫緊の課題である。

今後も政府・日銀は、経済成長に軸を置いて連携を深め、財政・金融政策を密接に関連させ、日本が一枚岩でデフレ脱却に挑む姿勢を世界市場に強く示してほしい。

以 上

平成 2 4 年 3 月 1 4 日

京都商工会議所
会頭 立石 義雄